

## セレブリティ・ミレニアムによる日本一周クルーズ(その1)

事務局長 池田良穂

沖縄近海で発生した台風の日本上陸が心配される中でのクルーズの出発となった。船は9万総トン型の「セレブリティ・ミレニアム」。9月22日に横浜港を出港して、広島、北九州、釜山、舞鶴、金沢、秋田、青森に寄港して横浜に戻る10泊11日の日本一周クルーズで、ミキツアーリストのチャーター。日本クルーズ&フェリー学会としては2回目の研修クルーズで、28名の参加となった。

17時の出港だが、12時からの乗船開始。大阪から飛行機で移動して、横浜港の大栈橋に到着したのは13時過ぎだった。船体塗装が、上部甲板以下がすべて濃紺に変わって、印象がだいぶ変わった。

大栈橋のターミナル前でタクシーを降りると係員がスーツケースを預かってくれ、手ぶらで受付に向かう。書類は事前に記載していたので待たされることもなく受付ができ、すぐに乗船できた。この船のクルーズはこれが3回目。最初は神戸発着、2回目は横浜発着の日本一周クルーズで、今回も日本一周だが、日程の都合で、舞鶴で途中下船する半周クルーズとなるのが残念。

荷物をキャビンにおいてから、プールデッキにあるブュフェレストランで昼食をとった。セレブリティ・クルーズの船の食事は、有名シェフの監修ということで、海外船の中では「美食の船」となっており、食事はなかなか美味しい。この昼食時に同乗する学会員の何人かと挨拶を交わすことができた。

出港前に避難訓練があり、他の大型船と同様にライフジャケットは持たずに指定されたマスターステーションに集合するスタイルで、私たちの集合場所はアートギャラリーだった。参加者チェック、ライフジャケット着用のデモンストレーション、船長訓話があつて終了。

17時に、雨の中での出航となった。我々のグループの夕食は、17時半からのファーストシーティングだった。このクルーズではテーブルは決まっておらず、レストランに入った順番にテーブルが割り当てられるシステムになっていた。レストラン前で出会った参加者と一緒にテーブルを囲むことができた。

20時半からはシアターでショーがあつた。この日の出し物は専属歌手とダンサーによるレビューショーだった。



船体下部が濃紺一色に変わりました。



ベランダ付きのキャビンを利用しました。



避難訓練の様子です。



船尾にある2層吹き抜けのメインダイニングルーム「メトロポリタン・レストラン」



今回の改装で新設された寿司・アジア料理の「スシ・オン・ファイブ」



美食の船での最初の夕食は!!



夕食後に専属歌手とダンサーによるショー。

**2日目** この日は終日航海日。出港時は台風の余波で、時々雨も降る天気だったが、台風は日本海を北上して北海道付近まで北上したため、雨は上がったものの非常に強い風が残る状態だった。昼頃には潮岬の沖を約16ノットで西に針路をとっていた。風は25m近くあり、波の高さは3m以上はありそう。テレビでの航海情報ではビューフォート階級が8~10という数字となっていた。

ただ、9万トン、長さ300mという巨大船だけに、大きな揺れはなく、波が船体を叩いた後、船体が左右にゆっさゆっさと揺すられるホイッピング現象が朝から続いていた。

11時から会議室の一室を借りて、学会としてのミーティングを開催。チャーターするミキツアーリスト(本会団体会員)の百武クルーズカンパニープレジデントに挨拶と、セレブリテ



イ、ロイヤル・カリビアンクルーズの説明、また参加者の中のコスタクルーズの井上さんからコスタクルーズの説明をいただいた。その後、参加者の自己紹介。持ち時間は2分だったが、各会員のクルーズ体験談を聞くことができた。

午後になると波もおさまり、空も晴れて、サンデッキではプールやジャグジーが賑わっていた。ここからようやくクルーズモードに入った。

夕食は参加者有志11名で大きなテーブルを囲んで、船談義をさかんに美味しい料理をいただいた。夕食後のショーは3人の黒人歌手によるソールミュージック。なかなか聴きごたえがあった。



午前中、海は大荒れでブフォート階級は8~10を示していました。



会議室でのミーティング風景。



11時から、学会のミーティング。百武さんと、井上さんからクルーズの紹介もありました。



夕食では、11人の大テーブルを囲んで美味しい夕食を堪能しました。